

クマに注意!

林業振興課 林業振興係
0824・73・1124

近年、全国的にクマ（ツキノワグマ）の出没や人身被害が増加傾向にあります。

市内でのクマによる人身事故はありませんが、4月以降、目撃情報や足跡、痕跡情報が市へも継続的に寄せられています。

急に人と遭うとクマも驚きます。秋の行楽シーズンになりますが、山に立ち入る際は、鈴やラジオを携帯するなど、クマに人の存在をあらかじめ知らせ、脅かさないよう注意をしましょう。

また、家の周りに生ごみなどクマの餌となる物を放置しないようにしてください。

△熊に遭わないために！

1 山へ立ち入るときは、事前にテレビやラジオ、新聞などのマスコミや、地元での話などから出没情報を入手し、危険な場所には近づかないようにしましょう。

2 鈴やラジオなどを持ち、クマに人の存在を知らせましょう。

う。

3 クマの活動時間帯（朝夕の薄暗い時）を避けましょう。また、風や霧のあるときや、小川などの沢沿いでは、クマの注意力が散漫になるため注意が必要です。

4 爪跡、ふん、足跡などのクマの痕跡に注意しましょう。

5 生ごみは放置せず持ち帰りましょう。人間が食べ物を持っていると思い、クマが故意に人間に近づくようになります。

△クマに遭ってしまったら

1 遠くにいるときは、そっと立ち去りましょう。

2 騒がないで、落ち着いて行動してください。石や枝を投げるとクマが興奮します。

3 クマに背を向けずに、向き合ったままゆっくりと後退してください。

4 子グマに出会ったら付近に親グマがいる可能性が高いので十分注意してください。



体長（成獣） 110～150cm
体重（成獣） 80～120kg
聴覚・嗅覚 非常に優れている
性質 おとなしいが子連れの母グマは強気
体力 木登り、水泳ができる
走力 100mを7秒台で走る、腕力が強い
武器 鋭い爪と牙を持っている
食事時間 朝方・夕方

クマに出会って冷静に行動できる人は多くいません。出会わないことが一番大切です。
クマを目撃したときは、林業振興課または各支所産業建設室・地域振興室まで連絡してください。

就業構造基本調査を実施します

行政管理課 広報統計係
0824・73・1159

10月1日を基準日として、総務省の統計調査の就業構造基本調査を実施します。

この調査は、日本の就業・不就業の実態を明らかにすることを目的として、統計法（国の統計に関する基本的な法律）に基づき実施する、国の重要な統計調査です。

調査結果は、雇用政策、経済政策など、国や地方公共団体における各種行政施策の企画・立案のための基礎資料として活用されます。

調査をお願いする世帯には、9月下旬に調査員が伺い、調査書類をお配りします。皆さんに、より便利にご回答いただくため、パソコンやスマートフォンを使って、簡単にインターネットで回答することが可能となっていますので、調査へのご協力をお願いします。

